

<2014年8月20日マルチステークホルダー会議>

## 3R推進団体連絡会による 自主的取り組みについて

<3R推進団体連絡会：容器包装の素材に係るリサイクル八団体で構成>

ガラスびんリサイクル促進協議会  
PETボトルリサイクル推進協議会  
紙製容器包装リサイクル推進協議会  
プラスチック容器包装リサイクル推進協議会  
スチール缶リサイクル協会  
アルミ缶リサイクル協会  
飲料用紙容器リサイクル協議会  
段ボールリサイクル協議会

3R推進団体連絡会・幹事長 幸 智道  
(ガラスびんリサイクル促進協議会 事務局長)

# 3R推進団体連絡会の結成経緯と自主行動計画

容器包装リサイクル法の見直し審議の過程にて

事業者の役割  
の徹底・深化

主体間連携の  
強化

3R推進団体連絡会の結成：2005年12月

第一次自主行動計画（2006～2010年度）  
（2006年3月公表）

第二次自主行動計画（2011～2015年度）  
（2011年3月公表）

# I. 事業者自ら実施する3R推進計画

## 2015年度推進目標

### Reduce リデュース

- 軽量化・薄肉化による資源使用量削減（数値目標）
- 適正包装の推進
- 詰め替え容器の開発

### Reuse リユース

- リユースびん市場開拓などの取り組み
- 連携強化に向けた取り組み

### Recycle リサイクル

- 回収率・再資源化率の向上（数値目標）
- 容器包装の資源循環性の向上
- 消費者への広報・啓発の推進
- 多様な回収の拡大に向けた研究・支援

## Ⅱ. 主体間の連携に資するための行動計画

市民に対する普及啓発活動や、各種調査・研究活動への参画・実施を通じ**市民・自治体・国**等との連携に資する取り組みを展開します。

関係八団体共同の取り組み

容器包装廃棄物の3R推進普及啓発のため、

- 情報共有、意見交換の場の充実
- PR・啓発事業の継続
- 調査・研究事業の実施

共通のテーマによる各団体の取り組み

- 情報提供・普及啓発活動
- 調査・研究
- サプライチェーン事業者間の連携

# 容器包装 3 R の2012年度実績

**Reduce**

リデュース

：資源使用量削減の推進  
⇒ 1ヶ当たりの軽量化・薄肉化並びに  
総量削減は、継続して進展

**Reuse**

リユース

：市民・自治体・事業者との連携した取り組み  
を推進

**Recycle**

リサイクル

：回収・再資源化の推進  
⇒ 目標に向けて進展、高水準を維持

# リデュースの取り組み

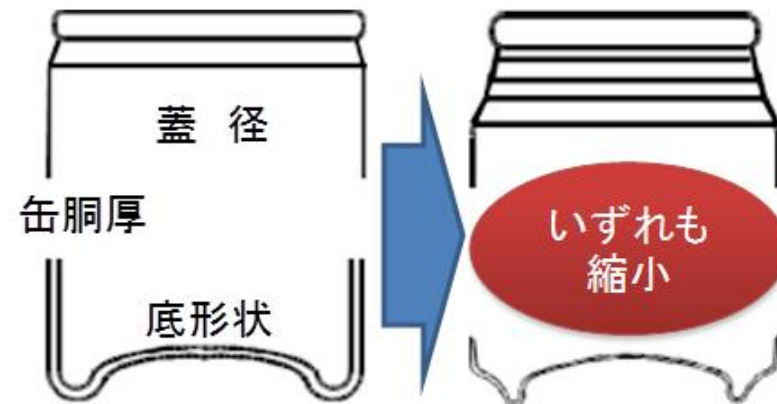
2015年度目標に向け、  
着実に進展しています



プラスチック容器包装の削減



紙パックの軽量化



金属缶の軽量化

## リデュース 軽量化・薄肉化等による使用量削減(数値目標)

素材	2015年度目標 (2004年度比)	2012年度実績	2006年度からの 累計削減量
ガラスびん	1本あたりの平均重量を <b>2.8%</b> 軽量化	<b>2.1%</b>	<b>143千トン</b>
PETボトル	指定PETボトル全体で <b>15%</b> の軽量化効果 上方修正	<b>13.0%</b>	<b>331千トン</b>
紙製容器包装	総量で <b>11%</b> の削減 上方修正	<b>9.9%</b>	<b>711千トン</b>
プラスチック容器包装	削減率で <b>13%</b>	<b>11.5%</b>	<b>58千トン</b>

## リデュース 軽量化・薄肉化等による使用量削減(数値目標)

素材	2015年度目標 (2004年度比)	2012年度実績	2006年度からの 累計削減量
スチール缶	1缶あたり平均重量 で <b>5%</b> 軽量化 <span style="background-color: #800000; color: white; padding: 2px;">上方修正</span>	<b>4.9%</b>	<b>115千トン</b>
アルミ缶	1缶あたり平均重量 で <b>3%</b> 軽量化	<b>3.8%</b>	<b>42千トン</b>
飲料用 紙容器	牛乳用500ml 紙パックで <b>3%</b> 軽量化	<b>1.0%</b>	<b>165トン</b> (2011年9月から削減)
段ボール	1㎡あたりの重量 を <b>5%</b> 軽量化 <span style="background-color: #800000; color: white; padding: 2px;">上方修正</span>	<b>3.6%</b>	<b>985千トン</b>



# リユースの取り組み

市民・自治体・  
事業者との連携した  
取り組みを進めています



リターナブルびん利用促進  
モデル事業(2008年度)

福島県における容器リユースモデル実証事業

# リサイクルの取り組み

着実に回収率等が向上しています。



紙製容器包装の改善事例



スチール缶 集団回収  
への支援



PETボトルから  
PETボトルへの  
再生 (B to B)



「びんとびん」リサイクルの  
動画での広報

## リサイクル率・回収率等の維持・向上(数値目標)

素 材	指 標	2015年度 目 標	2012年度 実 績
ガラスびん	リサイクル率 (カレット利用率)	<b>70%以上</b> (97%以上)	<b>68.1%</b> (100.3%)
PETボトル	リサイクル率	<b>85%以上</b>	<b>85.0%</b>
紙製容器包装	回収率	<b>25%以上</b> 上方修正	<b>23.0%</b>
プラスチック 容器包装	再資源化率	<b>44%以上</b>	<b>40.9%</b>

## リサイクル率・回収率等の維持・向上(数値目標)

素 材	指 標	2015年度 目 標	2012年度 実 績
スチール缶	リサイクル率	85%以上	90.8%
アルミ缶	リサイクル率	90%以上	94.7%
飲料用紙容器	回収率	50%以上	44.2%
段ボール	回収率	95%以上	98.4%

# 連携のための共同の取り組み

(～2014年7月)

# 八団体共同の取り組み 容器包装3R制度研究会まとめ

- 2010年度に立ち上げ3カ年にわたる議論
- 市民・自治体・学識者それぞれのステークホルダーが参加
- 神戸大学石川教授を座長に意見交換会、公開ヒアリングを開催

## 『容器包装3R制度研究会報告書』をまとめ(2013年8月)

- 関係省庁への報告
- プレスリリース
- ホームページでの公表



## 八団体共同の取り組み

## 意見交換会の開催

- 3R活動推進フォーラムとの共催
- 「容器包装の3Rに関する市民・自治体等との意見交換会」を開催  
→ 容リ法見直し時期を迎え、各主体との意見交換・交流を推進
- 第4回は2014年7月に開催(長野)



## リサイクルの基本「地域版」ワークショップ

- 2012年度：  
「かわさきスマートリサイクルごみの分別・資源化ガイド」を市民リーダー中心に作成  
→川崎市分別変更(2013年9月)の際に活用



- 2013年度：  
次のステップとして、川口市版  
「リサイクルの基本」作りを開始

・川崎市・川口市メンバーとの意見交換等





## 3R市民リーダー育成プログラム

- 市民と事業者の連携の基礎づくり・相互理解促進、情報発信
  - キーパーソン育成・支援
  - 具体的連携のためのプログラムづくり
- 
- 2011年度から2012年度にかけ、都内の3R市民リーダーの方々が、市民にいかにリサイクルを伝えるかを考え、イベント等で使える講座プログラムを作成
  - 2013年度も引き続き講座を定期的に関催



## 八団体共同の取り組み

## 3R連携市民セミナーの開催

- 容器包装に関する自治体・市民・事業者の取り組み等の情報交換と啓発の場の提供
- 3R活動にあたっての問題解決や協働の取り組みのきっかけづくりを目指して、3R推進セミナーを開催。

2013年度

『落語で聞こう！3R』

- 2013.11.15:新宿区立四谷区民ホールにて開催 参加者 約152名
- 各主体からの活動報告
- 林家時蔵師匠の環境落語  
「笑って身につくエコライフ」
- 時蔵師匠と関東学院大学織教授との対談
- パネルディスカッション



## 八団体共同の取り組み

## フォーラムの開催

市民・自治体・事業者が連携の形を共に模索

- 市民・自治体の方々を主な対象とするフォーラムをこれまで8回開催



2013年度  
3 R 推進フォーラムin川崎

2013年度は川崎市で開催  
容器包装 3 R 推進フォーラム in 川崎  
2014年2月20日  
テーマ：3 R の先進事例の情報共有

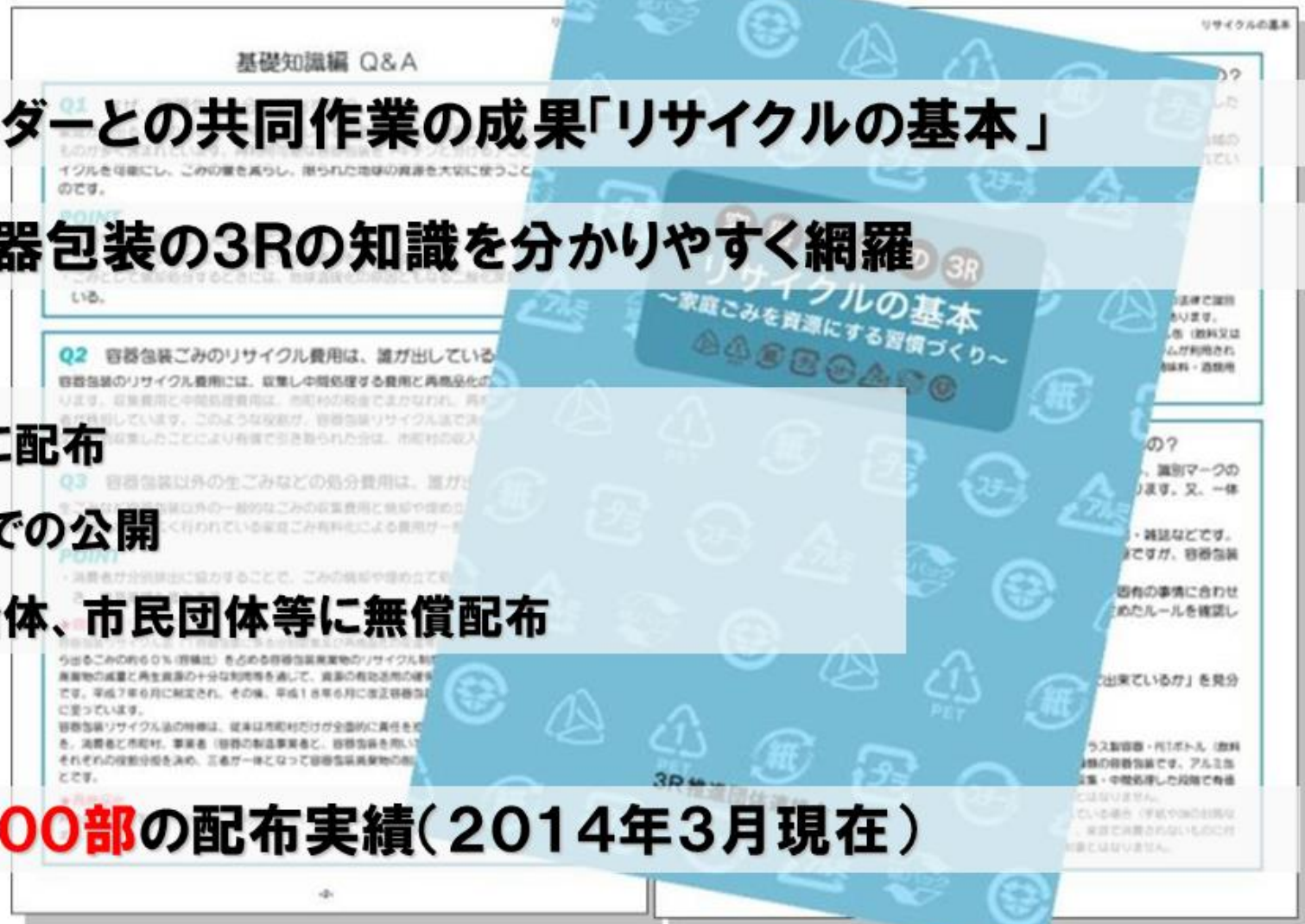
# 八団体共同の取り組み 小冊子「リサイクルの基本」の配布

● 3R市民リーダーとの共同作業の成果「リサイクルの基本」

● 八素材の容器包装の3Rの知識を分かりやすく網羅

- 全国市町村に配布
- ホームページでの公開
- 希望する自治体、市民団体等に無償配布

● 累計約8,000部の配布実績(2014年3月現在)



## 八団体共同の取り組み

## 展示会への出展

### 第8回3R推進全国大会 (宇都宮市)パネル出展



### エコプロダクツ2013

2013年度は、12月12～14日  
東京ビッグサイトで開催

# 八団体共同の取り組み

# ホームページによる情報発信



容器包装の3R推進のために

- 2008年5月開設
- これまでの活動報告、「リサイクルの基本」などの情報提供
- 「容器包装3R制度研究会報告書」等を掲載



3R推進団体連絡会は、容器包装リサイクル法に関連する事業者団体が連携して、容器包装の3R(リデュース・リユース・リサイクル)を進めるために結成されました。

■新着情報

当連絡会の新パンフレットができました。

当連絡会の成り立ち、活動などを紹介する新しいパンフレットができました。こちらのページ、または左側のリンクから閲覧、ダウンロードできます。

第7回容器包装3R推進フォーラムを開催します

今年で7回目となる容器包装3R推進フォーラムは、「容器包装3Rの将来」と題し、2012年11月1日～2日の2日間、仙台市にて開催します。フォーラムの詳細及び申し込みはしくはこちらのページからどうぞ。(別ウィンドウが開きます)

容器包装リサイクル法の見直し審議にあたっての考え方を掲載しました。



## おわりに

**3Rのさらなる推進に向け、  
引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。**

**ありがとうございました。**